

(財)茨木市文化振興財団第128回公演

# 華麗なる乙女文楽

よしだ・みづか

## 吉田光華の世界

筑前琵琶曲に人形が舞う  
悲恋と怪異の物語—  
妖しく 切なく 美しく  
乙女文楽・光華の舞

### 【演目】

- ◆小唄「高砂」吉田光華
- ◆津軽三味線演奏 木村俊介  
「津軽じょんから節曲弾き」
- ◆「平家物語」より 滝口入道と横笛の恋  
[筑前琵琶弾き語り] 室井三紀  
[篠笛] 木村俊介  
[人形] 吉田光華
- ◆端唄「茄子とかぼちゃ」吉田光華
- ◆ワークショップ  
人形解説、乙女文楽の歴史など
- ◆「雪女」小泉八雲 作  
[筑前琵琶弾き語り] 室井三紀  
[津軽三味線・横笛] 木村俊介  
[人形] 吉田光華



室井三紀



木村俊介

平成23年

9/11 [日] 15:00開演 (14:30開場)

茨木市市民総合センター クリエイトセンター・センターホール  
茨木市駅前四丁目6番16号 072-624-1726 / JR茨木駅から東へ、阪急茨木市駅から西へ徒歩10分

【全席自由】 前売2,500円 / 65歳以上、障害者及びその介助者2,000円 / 青少年 (24歳以下) 1,000円

◎茨木市観光協会、茨木市勤労者互助会、OSAKAメセナカード各会員は10%引き (この取り扱いには財団のみ)

◎当日は各300円増 ※就学前のお子様の入場はご遠慮ください

### ◆チケットのお申込み・お問合せ

(財)茨木市文化振興財団・事業係 072-625-3055 (茨木市市民会館ユーアイホール1階 9:00~17:00)

財団の発売初日は電話予約のみです。チケットの引取り・窓口販売は翌日から下記のチケットカウンターで

ユーアイホール 9:00~20:00 (土日祝17:00まで 8/20~8/22は臨時休館)

クリエイトセンター 9:00~17:00 (8/20~8/21は臨時休館)

### ◆その他プレイガイド (初日店頭販売あり)

ローソンチケット 0570-000-407 (オペレーター対応) ・Lコード予約 0570-084-005 (Lコード 53271) \*ローソン各店舗で直接購入可

電子チケットびあ 0570-02-9999 (Pコード 411-735) \*サンクス、サークルK、セブンイレブン各店舗で直接購入可

◆主催: (財)茨木市文化振興財団 ◆後援: 茨木商工会議所 / 茨木市観光協会 ◆制作: 特定非営利活動法人日本伝統芸能振興会

6月2日 (木) 9:00

電話予約開始

残席がある場合は翌日から  
窓口販売いたします

文化力  
POWER OF CULTURE

### 乙女文楽

大正時代の末期、今から約80年前に、女性が一人で一体の人形を遣うことを目的に考案されました。一人遣いの人形芝居は、差し込みの法や片手人形の形式で、現在の三人遣い(文楽)となる以前から行われていましたが、大きさや形など今の文楽に近い人形を、三人で遣うものを何とかして一人で遣えるようにしたいと、人形操作に工夫を加え、一人でしかも少女が遣うことから、この一人遣いを「乙女文楽」と称しました。当時は新世界のラジウム温泉を本拠地とする林二輝一座、片山栄治一座、吉田光子一座、この三座が活躍していました。(『上方』より)

乙女が一人で手軽に上演できる強みはあるものの、人形遣いが一人前になるには数年かかるうえ、戦争などの社会的事情が重なり、その火を消してしまっていました。この大阪に生まれた文化である乙女文楽を復活させようと、平成4年、当時相愛大学助教授であった故土井順一氏が吉田光子氏を講師に招き、乙女文楽の公開講座を開かれたことが、吉田光華の出発点になりました。

#### 【人形の遣い方】

まず、人形は腕金という道具で支えています。頭(かしら)は、人形の両耳の後ろに、U型の釘を打ち込み、ヘアバンドした人形遣いの耳の後ろから引っ張った紐を、そのU字の釘に引っ掛けます。人形遣いが首を前後左右に動かすことにより人形の頭もその通りに動く仕掛けになっています。人形の体重は腕金で支えていますので、人形の右手は人形遣いの右手で、人形の左手は左手で遣います。足は、人形の着物の裾を、人形遣いの足(袴に穴を開けています)につけます。人形遣いが歩くと、人形が歩くという仕掛けです。このように、文楽の三人遣いとは遣い方が全く異なります。人形遣いが踊り、舞うことによって、人形も踊り、舞う。人形遣いと人形は一心同体、体も心も通い合っただけの芸能表現といえるかもしれません。  
(吉田光華ホームページから引用)



吉田光華 よしだ・みづか / 人形

長年培った日本舞踊の素地を生かし、伝統の上に独自の感性を生かして復活させ、義太夫はもとより、新内・長唄・常磐津・小唄・琵琶・箏・尺八など邦楽の曲に合わせ、従来にない演目を振り付け創作。1997年、故・桂文枝の落語「天神山」の話の中で人形を遣い好評を得る。その後、「上方落語と乙女文楽」として、数々の舞台を重ねた。また、文楽の故・吉田文吾やモダンバレエとの共演、椎名林檎のCDアルバムのTVCM、狂言・浪曲・朗読などさまざまなジャンルとコラボレーションして、乙女文楽の新境地を開拓、幅広い分野で活躍中。年1回の自主公演「縁あって・乙女文楽 吉田光華の世界」を主催。〈古典芸能に馴染みの無い方にも楽しんでいただく〉を信条に独特の斬新な企画・構成・演出で注目され、毎回ファンを魅了している。日本各地での公演の他、フランス・オランダ・オーストリア・カナダ・韓国などでの海外公演やテレビ・ラジオ出演も多数。来年は、フランスのオペラに出演が決まっている。

### 室井三紀 むろい・みき / 筑前琵琶

1980年演劇集団円演劇研究所終了。演劇舎猫の事務所に所属し演劇活動を行う。琵琶を筑前琵琶の第一人者である日本音楽集団、田原順子に師事。古典、創作を通して、何をどう伝えるかを学んできた。邦楽だけでなくどまらず、馬頭琴、タブラ、シタール、ジャズのセッション、ダンスと幅広いコラボレーションも積極的に行い、平家物語などの古典は勿論、女優であることから語りにも力を入れ、民話、古典、歴史上の出来事などを題材に演劇的に創作し発表している。ミュージカル「平家物語」の作曲、演奏。京都思文閣「児玉房子ガラス絵展、宮澤賢治」。NHKラジオ「英会話入門、英語劇場」での琵琶伴奏。NHK徳島主催「空海の世界」展覧会イベントでの琵琶演奏。愛・地球博日本館イベント出演。NHK文化センター委託によるNHK公開セミナー「義経」(05年)、「風林火山」(07年)、「篤姫」(08年)、源氏物語(08年)の創作、演奏。また、ロシア(99年)に続き、08年3月にはオランダでのワールドフェスティバル「BUNRAKU」公演に参加、オランダ、オーストラリア、計10回公演、オリジナル曲、雪女(乙女文楽とともに)上演、好評を博した。NHK公開セミナーで発表される作品を含め、オリジナル作品は演劇的な面白さと琵琶の切なく美しい音色で各地のコンサートで人気が高い。



### 木村俊介 きむら・しゅんすけ / 津軽三味線・笛

和楽器奏者(笛・津軽三味線他)として活動する一方、作曲・音楽監督を行う。自作曲によるコンサート活動では、心象風景や心の動きをモチーフとした音楽で独自の世界を展開している。  
'06~'07年 坂東玉三郎演出・出演、鼓童『アマテラス』(京都南座・歌舞伎座他)に楽曲・詞を提供。  
'08~'10年 日韓合作KAGEKI『もう一つのシルクロード』(加藤直演出／荻野目慶子他出演・人見記念講堂／韓国国立国楽院)にて作曲・音楽監督を務める。  
'09年 『第3回邦楽グループコン』最優秀賞受賞。  
'10年 『Rainforest World Music Festival 2010』(マレーシア)に招聘出演。  
'11年 『HIBIKI~Resonance of Japan』(イギリス・オランダ)に出演。世界最大の民族音楽祭『WOMAD 2011』(イギリス)、『FMM Sines 2011』(ポルトガル)に招聘出演。

#### ◆チケットのお申込み・お問合せ

(財) 茨木市文化振興財団 072-625-3055 (茨木市市民会館1階 9:00~17:00)

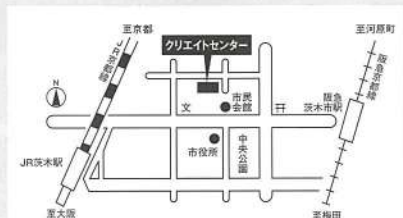
\* 財団の発売初日は電話予約のみです。

\* 予約後は、1週間以内に市民会館またはクリエイトセンターチケットカウンターでご精算ください。

\* 予約チケットの郵送をご希望の場合は、〈チケット料金+郵送手数料400円〉を郵便局備え付けの「払込取扱票」でお支払いください。手数料はご負担願います。払込確認後の発送となります。

〈払込口座〉00970-7-190576 / 加入者名: 財団法人茨木市文化振興財団

#### ◆クリエイトセンター(茨木市市民総合センター) 茨木市駅前四丁目6番16号 / 072-624-1726



JR茨木駅から東へ徒歩10分。阪急茨木市駅から西へ徒歩10分。